

労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告

事業所名	ビエネスタ新山口	事業所番号	3510101599
住 所	山口県山口市小郡高砂町2-11 新山口ビル1F	管理者名	藤本 尚美
電話番号	083-902-5860	対象年度	令和7年度(2025年度)

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所： ビエネスタ新山口 実施日程：2024年10月18日 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の支援。 ・障害の方が地域で安心した日常生活が送れるように、契約に基づいた支援。 <p>利用者：3名</p> <p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年金や福祉手当等の受領に必要なお手伝い。 ・生活費の定期的なお届け、お金の使い方についての相談、助言。 ・福祉サービス利用料や医療費、公共料金や家賃などの支払のお手伝い。 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の暮らしに必要な金銭の出し入れを支援し、利用者が安心して生活を遅れることが出来る。 ・自身の代わりに福祉サービスの利用や病院の医療費、公共料金等の支払いを行うことが出来る。 ・第三者の力を借りる事で自己管理が出来る。 	<p><活動の様子></p> 
---	--

連携先の企業や事業所等の意見または評価

日常生活自立支援事業を利用する際はメリットもあればデメリットもあります。本人に浪費癖があったり公共料金の滞納・借金があったりする場合は効果的です。一気にお金を渡すのではなく、複数回お金を渡すなど、計画的に取り組むことが出来ます。日常生活でお困りの方を対象に、福祉サービスの手続きや金銭管理のお手伝いをして、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう相談・助言・情報提供を行い、サポートしていきます。

連携先企業（担当者） 社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会 K氏 S氏

利用者からの意見・評価

- ・日常生活自立支援事業は知らなかった。方が一生活預金が尽きる場合があっても公的な貸付制度があるとわかり、安心した。方が一の時に重要な知識なので、もっと広まってほしいと思った。（A氏）
- ・日常生活自立支援事業は知らなかった。現在、宿泊訓練施設を利用しており、金銭管理はなるべく自分できるようにします。どうしてもわからないことがあった時は相談してみたいなと思いました。（B氏）
- ・日常生活自立支援事業は知っていた。現在、利用を検討するほど困窮はしていないが、将来的なことを考えると、社協に行くと、日常生活自立支援事業について詳しく書かれたパンフレットがあるのかが知りたい。知識として知ることが大事だと感じた。（C氏）